

令和7年度 学校だより



# あじさい



令和7年12月15日

第7号

鎌倉市立今泉小学校

学校長 泉 昭子

学校教育目標 「やさしく 強く 自ら学ぶ子」

\* 上記の QR コードを読み込むと、今泉小学校ホームページから、画像がカラーでご覧になれます。

今年も残りわずかとなりました。2学期も様々な学習活動や行事がありました。子どもたちはその時々いろいろな表情を見せ、様々な人や事柄などの関わりの中で、大きく成長していると感じています。健康に気をつけ、子どもたちにとって楽しみいっぱいの冬休みが、笑顔で家族と過ごせる素敵な時間になりますようにと願っています。



今学期も登下校の安全や教育活動において、保護者の皆様にご協力いただき、地域の皆様に支えていただきました。感謝申し上げます。

## ❁ 4年生が鎌倉市小学校音楽会で発表しました



12月5日(金)に、鎌倉芸術館大ホールで第70回鎌倉市小学校音楽会が開催され、今泉小は午前の部に出て、合唱・合奏とダンスで「ディズニーメドレー ラプンツェルより<輝く未来>」「ハイスクールミュージカル<みんなスター>」「All I want for christmas is you」を披露しました。

### 【演奏を終えた時思ったこと】

- ・今までで一番よくできた。・楽しかった。・うまくいった
- ・全力を出し切れた。・がんばったかいがあった
- ・気持ちがいいし、うれしい。・練習がんばって良かった
- ・ついに今までの練習の成果が出せて良かった
- ・やれることは全部やったから満足
- ・けっこううまくいったんじゃないかな。・ちょっとさみしい
- ・もう終わってしまうのか。・もう1回やりたい
- ・練習できていいことしかなかった
- ・自信が持てるようになった。・緊張しなくなった

### 【練習を通じて感じた友達のよいところ】

- ・ダンスがたくましくなってカッコよかった
- ・声をかけてくれた。・ちゃんと練習していてすごい
- ・わからないところを教えてくれた
- ・まちがえても、その人をだれも責めたりしなかった

ステージに立って発表する機会は、人生で何回も経験できるものではありません。自分に任された役目に全力で取り組み、みんなで音楽を表現した子どもたちは、こんな豊かな感想を残しました。

### 【音楽会の練習を通じて自分についた力は？】

- ・やり切る力
- ・音を楽しむ力
- ・あきらめない力
- ・こつこつ進める力
- ・友達と協力する力
- ・練習に集中する力
- ・みんなと合わせる力
- ・緊張感
- ・たくさん練習する力
- ・音楽と合わせる力
- ・目の前に人がいっぱいいるところで発表する力
- ・みんなと協力して一つの物を作る力
- ・自信が持てるようになった
- ・緊張しなくなった

## ❁ 学校教育アンケートのお願い

本校のさらなる教育活動の充実に向けて、アンケート項目の見直しを行いました。保護者の皆様から、いただいた評価やご意見を次年度に向けた学校運営改善の参考にさせていただくために、Google フォームにてご回答をお願いします。12月12日付の別紙と連絡メールにてお知らせをいたしましたが、多くの皆様に早々にご回答いただいております。ありがとうございます。

お子さん一人につき、1回の回答をお願いしています。

まだお済みでない保護者の皆様、どうぞご協力をよろしくお願いします。

1月7日(水)までに、ご回答をお願いします。



## ～こんな取り組みをしています～

### ♡ 学びづくり (学校教育目標「やさしく 強く 自ら学ぶ子」は未来につながる！)

学校で何を教えるかを定めている次期学習指導要領の改定の方角性を見据えて鎌倉市の教育大綱が示され、学校教育は大きな転換期を迎えています。本校でもそれらを受けて学校グランドデザインを見直し、子どもたちが興味関心を持ってすすんで学ぶとともに、学び方を知り、知識を活用して学びを深められるような学びづくりに取り組んでいます。

指導方法も、国が求めている高学年教科担任制を取り入れ、高学年は専科の授業の他に担任がチームとして担当する教科を決め、全てのクラスで教える取り組みを行っています。他の学年も学年に応じて体育など、学年一緒に指導する機会をつくり、チームとして子どもたちの指導にあたることで、子どもたちがいろいろな先生と関われる環境づくりも行っています。



中学校になったら部活をがんばって、定期テスト前にしっかり暗記して・・・という時代は終わっています。岩瀬中学校でも定期テストは廃止し、日頃の授業や課題への取り組み方と単元テストで評価をしているそうです。小学校の時の学び方や自己管理する力が大事になります。

### (1) 探究的な学び・・・アウトプットが大事です！

本校の総合的な学習の時間は、6年生「生き方」・5年生「伝統文化」・4年生「福祉」をテーマに、子どもたちが興味をもった内容を深められるように、1年間かけて進めています。

今年度の6年生は、教育委員会の取り組みである鎌倉市のスクールコラボファンドを活用して、様々な方面で活躍している方(脚本家・元全日本ラグビー選手・教育長・車椅子シンガー等)が来校し、お話を聞く機会をつくっています。事前学習で経歴等を調べて尋ねたいことを決めておき、当日のお話から学んだことを元に考え、友達や家の方に伝えることで、さらに学びを深めています。

5年生は、自動車工場における日本の物づくりに対する取り組みを学んだ後、企業が提供している小学校向けプラモデル授業を活用し、物づくりに対する思いや環境に配慮した取り組みについて学びました。初めてプラモデルを作った子も多く、残ったプラごみが目の前で定規に再生される様子に、驚きの声を上げていました。





## (2) 体験活動の充実・・・本物から学ぶ！ 地域力の活用！



3年生は湘南モノレール工場を見学し、自分たちが使っている乗り物が、長年にわたり多くの人たちによって安全に運航されていることを学びました。アナウンスやドアの開け閉めも体験させてもらいました。

4年生は社会福祉協議会の方に来ていただき、車椅子福祉体験もしました。体験して初めて分かったり、利用者の思いを感じたりすることができました。



1年生は朝顔・2年生とつばめ級は夏野菜やサツマイモ・4年生は緑のカーテン(ゴーヤ)などの栽培活動、3年生は蚕の飼育に挑戦しました。目の前の命と向き合う大事な時間になりました。

## (3) ICT の活用

コロナ禍で GIGA スクール構想が前倒しとなり、学校の教育活動に ICT の活用が求められるようになって早4年、子どもたちは年々iPad の使い方に慣れ、学習内容に合わせ、必要に応じて選んで使う文房具の一つになりつつあります。



画像を撮り、画面を大きくして細かいところまで観察をする姿、調べたことを資料にまとめて発表する姿、体育では、自分の動きを友達に撮ってもらい、アドバイスをもらいながら再び挑戦する姿、四字熟語の学習ができるアプリを使って、クラスのみんなで協力し、楽しみながら学ぶ姿、Aiドリル「すらら」を使って、個別に習熟を図る姿、全校児童に見てもらうために委員会活動で協力しながら動画を作る姿・・・情報の扱い方のルールを学びながら、iPadを効果的に使って学習しています。



## (4) 異学年交流・・・ 温かい人間関係づくり



毎年、6年生が入学したばかりの1年生の学校生活を進んで手伝いに行ったり、2年生が生活科の学習で学校案内や手作りおもちゃ大会に招待したり。そんな1年生も、3学期になれば来校した園児に精一杯のおもてなしをしたりしています。低・中・高学年ごとに運動会の演技を見せ合ったり、宿泊に行く学年にエールや質問を送ったり。他学年と交流はよく行っています。



今年度は、コロナ禍前に行っていたペア学年(1・6年/2・4年/3・5年)交流給食を復活しました。上の学年が計画して、昼休みは楽しそうに一緒に遊んでいます。

